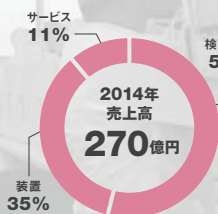
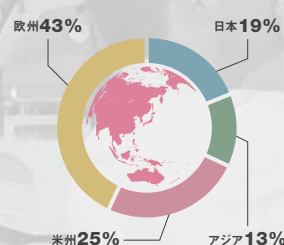


Medical 医用システム機器部門

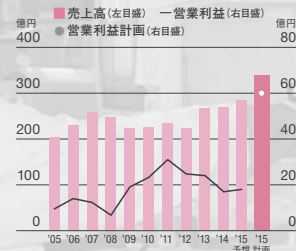
売上高 事業別内訳



売上高 地域別内訳



売上高／営業利益



検体検査市場に対して積極的な製品展開

人体から採取されたものの分析・計測を行う検体検査市場において、主に血液検査機器と検査時に使用される検査試薬を販売しています。ビジネスモデルは、検査試薬(消耗品)の販売で収益を上げるもので、血液検査装置など医用検査機器の累積設置台数を増やすことで、検査試薬の販売増により安定した収益確保をめざすものです。特に小規模な病院・検査センターや開業医、手術室などPOCT®市場に特色のある中/小型血球計数装置を投入し、検査試薬販売拡大につながる事業展開を積極的に行っています。

※POCT(Point of Care Testing): 開業医、専門医の診療室、病棟および外来患者向け診療所など「患者に近いところ」で行われる検査の総称

2014年実績と2015年予想 新製品による国内販売増加や、 グローバル市場への製品投入を加速

2014年は、円安の効果もあり売上高は増加したものの、欧州での販売は低調に推移しました。日本でも、消費税増税後の買い控えなどの影響があり、装置の販売が低調でした。加えて、欧州における中/大型製品の新製品開発のための投資と、北米での販路拡大に向けた体制強化を継続的に行ったことから、営業利益は前年比減となりました。

2015年は、3月に発売した日本での戦略製品である自動血球計数CRP測定装置による販売拡大をめざします。北米では、販売網

検査カテゴリー別の事業展開

検査カテゴリー	生化学	血球計測	免疫	凝固
市場規模	2兆円	3千5百億円	2兆円	2千億円
病院		血液検査	HORIBAが強みを持つ領域	
中小病院	生化学検査	中/小型 血球計数装置		
開業医			CRP測定	凝固検査
病棟・手術棟 (POCT)	血糖測定			

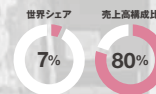
市場規模について…昨年度までのHORIBA Report(アニュアルレポート)では、市場規模は中央検査部・検査センターの金額を推定しておりましたが、本年からカテゴリーを見直し、中央検査部・検査センター以外の場所での検査を含めた推定としております

主要製品と市場シェア

注:各製品の市場シェアは当社推定値

自動血球計数装置

人間や動物の健康状態の判定に欠かせない血液検査で、血液中の赤血球・白血球の個数をはじめ、ヘモグロビン濃度、血小板の個数を測定します。



自動血球計数CRP測定装置

世界で初めて、血球とCRPの同時測定を実現。体内に炎症がある場合に生じるタンパク質の一種であるCRPは、血球と同時に測定することで、より迅速で信頼性の高い感染症診断に役立ちます。



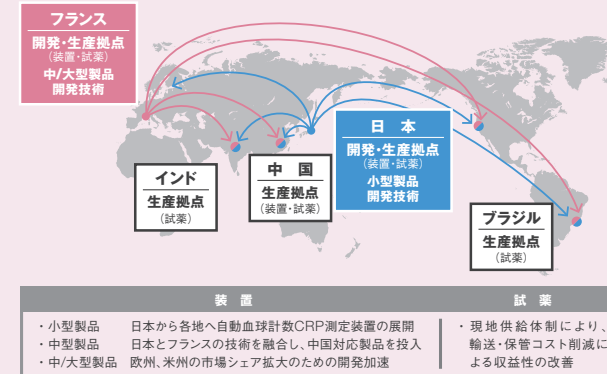
強化のための投資を継続的に実施し、欧州においては、早期の製品投入をめざして研究開発投資を継続します。

製品展開の基盤固め。 次世代製品の開発スピードアップ

2014年2月に、日本とフランスの両開発拠点の技術を融合し、拡大する中国市場をターゲットとした中型血球計数装置を発売しました。

検査に用いる試薬については、グローバルに試薬供給ができる体制を整えるために、大量消費地に近い場所へ積極的に工場開設を進めており、2011年から2014年までの4年間で日本(阿蘇)、

グローバルな製品開発と供給体制



検査試薬売上高構成比率の推移

